

第1学年B組 算数科学習指導案

授業者 伊藤 智美
研究協力者 佐藤 学、加藤 慎一

1 単元名 かたちはっけん

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

本単元は、図形について学習する最初の単元である。子どもたちは、入学前から遊びを通して、もの大きさ、位置などに「やまが三角がある」など様々な形を見たり、折り紙を折る中で「ダイヤの形ができた」や「横長四角で、こつちから丸だよ」と身近なものの形に例えたりしながら、形を認識している場面があった。子どもたちは、このような生活場面を経て、自分の気づきや問いをその都度全体で共有してきたことで、図形に関する見方・考え方の素地が育ちつつある。また、算数の学習では自分の考えを積極的に発表してきたことで、自分の考えを全体に広げようとする姿が多く見られ、友達の影響を受けて反響したり、自分の考えと比べたりする姿も見られるようになってきている。一方で、友達の影響を受けて、自分の考えを再検討したり、修正したりしながらも、よりよくなっている。また、形については、大小や色、位置などが含まれた漠然としたものとして捉えている子どもが多い。

(2) 単元について

本単元では、ものの形の特徴や構成に着目して、箱の形やそれらの面の形の特徴を捉え、身の回りにもあるものの形を分類したり、見つけた面の形を使って形を構成したりすることを目指す。生活経験から感じている身の回りの形について気付きを生かす。友達と対話しながら具体物や構成に着目し、図形の性質を統合的・発展的に考察することができると期待する。形の構成に着目し、図形の性質を統合的・発展的に考察することができると期待する。形の構成に着目し、図形の性質を統合的・発展的に考察することができると期待する。形の構成に着目し、図形の性質を統合的・発展的に考察することができると期待する。

本単元は、かたちづくりの学習へとつながっていく大事な単元である。そこで、入当初の「なかよしあつまれ」や、日常生活の中で身の回りにもあるものの形に着目する活動や折り紙などを用いた創作活動で積み重ねて獲得した『『四角』を折ると『三角』になる』『『ボール』は『転がる』』といった「学びのもののさし」を働かせながら、形の特徴や構成についての知識を獲得していく姿を期待して、本単元を設定した。

(3) 指導について

学年のオープンスペースに箱などのいろいろな形の具体物を準備し、休み時間に子どもたちが自由に遊ぶことができるようにする。そうした課外時間における遊びの中で、みんなで作ったものを集めてみるというように見えることから「みんなで1 Bタウンを作りたい」という子どもたちの声を基に、具体物を使って1 Bタウンにしたいと思うものを自由に使うことができる場も設定し、遊びの中でひらめいたことを試しながら様々な発見へとつなげていくようにする。楽しみながら作品を作っていくうちに、具体物が転がって安定しなかったり、具体物を思うように並べられなかったり、積み重ねられなかったりと困り感が出てくる。その困り感を本時で取り上げ、それぞれの立体図形の機能的な性質を考えることができるようにする。そして、「なぜその具体物を使ったのか」「どのような組み合わせにしたら、作りたいものが作れるか」友達と対話しながら考える学習活動を通して、具体物の特徴にも目を向け、形の大や色、位置などに関わらず、ものの形を捉えられるようにしていきたい。また、友達と対話をする中で、新たな気づきが生まれ、それを基に自分の作品を再考し、よきとする気持ちも生まれてくる。その際、子どもたちの気づきや、つぶやきを板書や掲示に残し、自由に作り直すことができるようにする。3時間目は作品をブラッシュアップするために、具体物を分類する活動を設定する。立体図形の特徴を友達と確認しながら分類したり、どの仲間に入るのか分からないものを友達との対話を通して一緒に考えたりすることで、ものの形の特徴や構成に着目できるようにする。単元の終末では今まで学習したことを生かして、面を写したり、具体物を触ったりすることでどの仲間の立体図形なのか考える形クイズを出し合う活動を設定する。また、それらの活動で作製したものや分かったことを1 Bタウンに生かし、子どもたちの達成感にもつなげていくようにする。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり、分解したりすることができる。 〈B-2〉
- (2) ものの形に着目し、身の回りにもあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりしている。 〈B-1〉
- (3) 身の回りにもあるものの特徴を親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 〈ア・イ〉

4 単元の構想（総時数 6 時間）

なかよしあつまれ

・身の回りにあるものの形に着目し「さんかく」や「しかく」などの形について学んでいくという見通しをもつ。

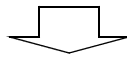
本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との 関連)
課外	(休み時間) 箱などの具体物を使って遊ぶ。 ・たくさん箱があるなあ。 ・ぼくは箱を積み上げてみたいなあ。 ・私はうさぎを作ってみたよ。 ・缶やボールはよく転がるよ。	・子どもたちの問いを学習に生かすことができるように、具体物を使って遊ぶ時間を設定する。 ・主体的に作ることができるように、日常で目にする箱などの具体物を十分に用意する。	・身の回りにあるものの形に関心をもち、形を構成することに主体的に取り組んでいる。 (ア、イ)
1	(1) 学習の計画を立てる。 ・箱を積み上げるとぐらぐらしてくるなあ。 ・大きな建物を作りたい。 ・見た人がわくわくするものを作りたいなあ。 ・箱を並べてお家を作ってみたよ。	・形の学習に意欲をもって取り組むことができるように、休み時間に興味をもって箱を使った遊びをしていた子どもを紹介する。 ・「1 Bタウンを作りたい」という学習のゴールを見通すために、友達が作ったものを見る時間を設定し、「街みたいだ」という声を取り上げる。	
2 本 時	(2) 1 Bタウンにあったらよいものを作る。 ・転がりやすいものを下に置くと崩れてしまうなあ。 ・たくさん積むことができた。 ・筒の形を箱の形に変えてみよう。 ・たくさん積み上げたい時は箱の大きさにも気を付けよう。 ・四角グループの形が多いよ。 ・ぼくの使った形は、箱の形が多いな。	・形の特徴に目を向けることができるように、「箱の形の向きを変えてもできるよ」などの「学びのものさし」を働かせて得た新たな気づきを全体で取り上げ、板書に残す。 ・子どもたち自身で具体物の機能性に気付くことができるように、「平ら」「転がる」「丸い」「長い」「積みやすい」という言葉を使って表現している子どもの考えを取り上げる。	・身の回りにあるものの形について、形の特徴や機能的な特徴を理解している。 (B-1)
3	(3) 箱などの具体物を分類する。 ・この形は平べったいけれど、筒の形かなあ。 ・転がりやすいものと、転がりにくいものがあるね。 ・角があるものとなないものがある。	・作ったものをレベルアップする際に自分が欲しい形を取りやすくするために、分類する場を設定する。 ・形に着目して分類できるように、4種類の形の積み木を提示する。	・身の回りにあるものの形の特徴を捉えて分類したり、作った形から逆に具体物を想像したりしている。 (B-2)
4	(4) 面を写し取り、写した形で絵を描く。 ・筒の形は寝かせると転がって写しづらいなあ。でも、立てると丸だ。 ・丸を使って信号を描こうかな。 ・箱の形は全部四角でできている。 ・平らなところの形を写しても車ができた。	・平面に目を向けることができるように、「箱の形の中に、たくさん形の隠れている。」などの子どもの気づきを基に、具体物の面を写し取る時間を設ける。 ・自分が写し取っていない箱などの面の形の特徴にも着目できるように、子どもが写し取った形を次々と黒板に掲示していく。	・箱などの具体物の面の形の特徴を捉え、「しかく」、「さんかく」、「まる」などを見付け、それらを使って形を構成している。 (B-1)

5	<p>(5) 友達の作ったものを見合い、1 Bタウンを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この建物は使う箱を変えて、前より高くしたんだよ。 ・ここは箱の形が多い町にしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの形の機能や特徴に目を向けられるように、作るときに選んだ形のどんなよさを生かしたのか問いかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの形の機能的な性質や特徴を生かして作製することができたか振り返っている。 〈B-1〉
6	<p>(6) 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角があるのは、箱の形かさいころの形だな。 ・平らなところがなくて真ん丸で転がりそうなのはボールの形だよ。 ・身のまわりのものはいろいろな形でできているね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 Bタウンを作る際に使った形の特徴について感覚的なものにならないように、これまでの学びを振り返り黒板に掲示してあるキーワードを基にして、図形の特徴を言語化して答える形クイズをつくることを提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるものの形について、平ら、丸い、かどがあるなどの形の特徴を理解している。 〈B-1〉

◎本単元で育む主な資質・能力

ものの形の特徴や構成に着目して、箱の形やそれらの面の形の特徴を捉え、身の回りにあるものの形を分類したり、見付けた面の形を使って形を構成したりする。
(B-1、2)



かたちをつくろう

- ・具体物を用いて形を作ったり、分解したりする。

5 本時の実際 (2 / 6)

(1) ねらい 具体物の形に着目して、仲間と対話しながら、街にあるとよいものを作る活動を通して、形の特徴や機能的な性質について理解することができる。
(B-1)

(2) 展開

○「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

時間	学習活動	教師の支援 評価
5分	<p>① めあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作りたいと思っていたものの通りの見た目になった。 ・箱を重ねると崩れてしまった。 ・丸いものを上に積むのは無理。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物の機能的な性質に目を向けることができるように、前時において具体物を積み重ねたり組み立てたりする際に立体図形の機能面についての困ったことを取り上げ、「そうなった理由は使った形(具体物)にあるのではないか」という声を引き出し、めあてにつなげる。
	<p>めあて _____</p> <p>○○をつくるためには、どうしたらよいかかんがえよう。</p>	
20分	<p>② 1 Bタウンにあったらいいなど 思うものを作る。 (個、ペア、グループ)</p> <p><予想される子どもの反応></p> <p>【使う具体物を吟味せずに選んでいる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を重ねても崩れてしまうなあ。 ・ぼくはビルを作りたい。とりあえず箱を積み上げてみよう。 <p>【色や大きさ、装飾にこだわっている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い丸を使って模様を付けたいけれど、ちょうどよいものがない。 <p>【作った際に困り感をもっている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み重ねることができただけで崩れそう。 <p>【具体物の機能性に目を向けている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角い箱はいくつも重ねられたよ。 ・筒の形は寝かせると転がりやすいなあ。 <p>【形の特徴に目を向けている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角だけでできている箱がある。 ・ボールの形はどこから見ても真ん丸だ。 ・たくさん積み上げたい時は箱の大きさにも気を付けなければいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形の特徴や機能性に注目できるように、作る際のルールを子どもたちと決める。 ・困った時に友達と相談できるように、似たものを作りたいと思っている子ども同士をグループにして話し合いがしやすいようにする。 ○形の特徴や機能的な性質に気付くことが難しい子どものために、友達との対話を通して使う具体物を変えた子どもを全体で取り上げ、組み立てやすさ、置きやすさ、つくりたい物に合った形など、着目した視点を出し合い、解決に向けた糸口を共有できるようにする。 ○形の特徴に目を向けることができるように、「箱の形の向きを変えてもできるよ」や「筒の形を寝かせた上に箱を乗せることは難しいね」など、「学びのものさし」を働かせて得た新たな気付きを全体で取り上げ、黒板に板書したり、工夫したことを言語化し記述できる学習シートや掲示用カードを準備したりする。
15分	<p>③ 工夫したところを出し合い、形の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角い箱を重ねる順番を変えてみた。 ・筒の形は転がりやすいから、さいころの形に変えてみた。 ・形にはいろいろなものがある。 ・同じ箱でも、縦長四角とさいころ四角の箱があった。 ・この箱はどの仲間になるのだろう。みんなで考えてみたいな。 ・私の使った箱は、友達の箱と同じ仲間だな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたち自身で具体物の機能性に気付くことができるように、「平ら」「転がる」「丸い」「長い」「積みやすい」という言葉を使って表現している子どもの考えを取り上げる。 ○形の特徴に気付き、次時につなげていくために、「四角い」「曲がっている」「細長い」「とがっている」「ボールみたい」という言葉を使って形の特徴に気付いている子どもをつぶやきを、意図的に取り上げ、子どもから出た言葉をまとめて生かす。 ・学習したことを残し、次時で形に着目して分類し、作ったものをレベルアップすることができるように、「何の仲間の形を使って作ったのか」「どんな工夫をしたのか」などを書くことができる学習シートを準備する。
	<p>まとめ</p> <p>○つみやすいかたち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はこのかたち(しかく、たいら) ・さいころのかたち(さいころしかく、たいら) <p>○ころがりやすいかたち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つつのかたち(まがつている、たいら) ・ボールのかたち(まんまるボール) 	
5分	<p>④ 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達がやっていた工夫を使って作り直してみたいな。 ・筒の形は木や電柱を作る時も使える。 ・積みやすい形は高い建物を作るときに使いやすいな。 ・欲しい形がすぐとれるように仲間分けをしてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との対話を通して得た「学びのものさし」によって試し直してみたいと思ったことや、他の具体物を作る際にも生かすことのできる機能面での気付きなどを全体で共有できるように、意図的指名をする。
	<p>具体物の形に着目し、形の特徴や機能的な性質について理解している。 (B-1) (発言・シート)</p>	

令和5年度 算数科実践・研究計画

部 員	○猿田 千穂子、井谷 紀子、伊藤 智美
-----	---------------------

研究テーマ
個々の問いをもとに、主体的・協働的に学びをつなぎ、数学のよさを見いだしていく子どもを育む学び

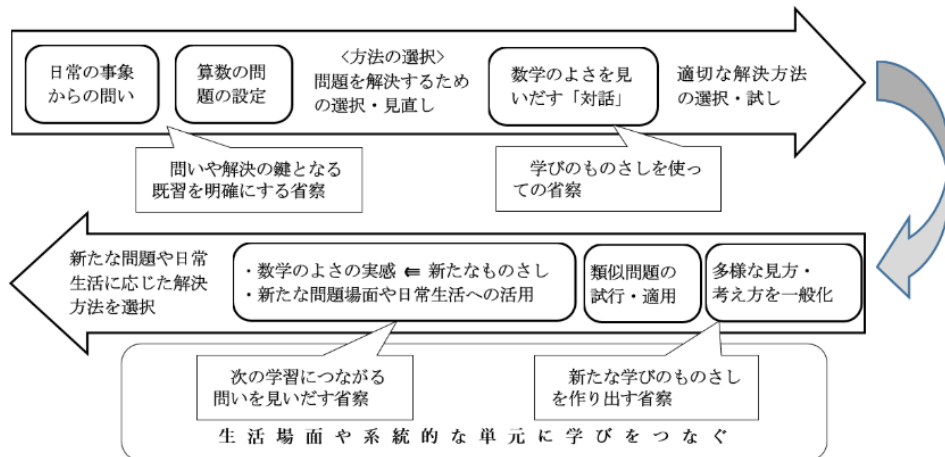
1 研究テーマについて

算数科では、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けること、統合的・発展的に考察する力、簡潔・明瞭・的確に表す力、学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことを目標としている。これまでに、問いをつなぎ、身に付けた見方・考え方を選び直したり試し直したりして問題解決し、新たな問いをもつ学習過程を繰り返し行ったことにより、「他の数や場面でも成り立つのか」「もっと速く分かりやすい方法はないのか」など算数科における「学びのものさし」を獲得し、学びをつなぐ子どもの姿を引き出すことができた。しかし、自力解決の際に、問いに対する解決の見通しをもつこと、また協働的な学びにおいて、統合的・発展的に考察したことを個々の学びに生かす点では課題が見られた。

このことを踏まえると、子どもたちが粘り強く解決したい問いを見いだしているのか、問いが自分事になっているかを改めて吟味する必要がある。問いが自分事になっていれば、解決の見通しをもつために「学びのものさし」を用いたり、友達の考えと比べたりしてよりよい解決方法を追究したいという目的が生まれる。そこで、課題を設定する場を工夫する。「学びのものさし」の共有や更新をするための場作りや、個々の課題解決と協働での課題解決の時間設定を工夫した単元構想をする。これらを基に、主体的・協働的に学びを進め数学のよさを見いだす子どもの姿を目指し、実践を積み重ねる。

算数科で目指す自律した子どもの姿

- ・「問いたい問い（生活の中から見付けたもの、解決したい困り感など）」を、仲間との対話をもとに試行錯誤し解決する過程で、考えを修正したり再構築したりしながら、自ら進んで数学的な概念を獲得していく姿
- ・獲得した新しい知識や方法等を次の学習やいろいろな場面で活用し理解を深める姿



図：算数科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

2 研究の重点 <○は具体的な取組の例>

自ら数学的概念を獲得し、学びを更新していくための支援の工夫

- 単元の導入で、困り感を見いだしたり、生活の中から算数の問題を見付けたりして課題設定する場や個の学びや協働的な学びを選択できる単元構想の工夫。
- 統合的・発展的に考察したことや個々の学びから生まれた問題を共有する場作りとして、ICTの活用を工夫する。

令和5年度「算数科の資質・能力」表

※□は、資質・能力の取り扱い学年、■は、定着学年を示す。

内容			学習指導要領との関連内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年
算数科の学びに向かう力、人間性等	ア	算数・数学的事実を自ら発見し、調べようとする。	全般	□	■	■	■	■	■
	イ	具体物や具体的な操作活動から、解決方法を見いだそうとする。	全般	□	■	■	■	■	■
	ウ	既習の知識をもとに、結び付けて考え、活用しようとする。	全般	□	■	■	■	■	■

算数科の各領域の付けたい力	A 数と計算	内容	学習指導要領との関連内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	1	ものとものを対応させることによって個数を比べる。	A(3)①	■	■	■	■	■	■
	2	個数や順番を正しく数えたり表したりする。	A(3)①	■	■	■	■	■	■
	3	一つの数をほかの数の和や差としてみる。	A(3)①	□	□	□	■	■	■
	4	十進位取り記数法によって数を表す。	A(3)①		□	□	■	■	■
	5	十、百、千、万、億、兆などを単位としてみる。	A(3)①		□	□	■	■	■
	6	一つの数をほかの数の積としてみる。	A(3)①		□	□	■	■	■
	7	観点を決めて、整数を類別する。	A(3)①					■	■
	8	数の構成について考察する。	A(3)①					■	■
	9	数の相対的な大きさを考察する。	A(3)①		□	□	□	■	■
	10	目的に応じて概数で表す。	A(3)①				■	■	■
	11	ある大きさのものを等分したものを分数で表す。	A(3)①		■	■	■	■	■
	12	小数を1/10のいくつ分で表す。	A(3)①			■	■	■	■
	13	分数を単位分数のいくつ分かで表す。	A(3)①			■	■	■	■
	14	小数が十進位取り記数法によって表されていることを理解する。	A(3)①				■	■	■
	15	分数の大きさについて理解する。	A(3)①		□	■	■	■	■
	16	真分数、仮分数、帯分数について理解する。	A(3)①			□	■	■	■
	17	整数の除法の結果を分数で表す。	A(3)①					■	■
	18	分数を小数で表す。	A(3)①					■	■
	19	加法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②	□	□	□	■	■	■

20	加法の意味を理解する。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
21	加法の計算をする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
22	減法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
23	減法の意味を理解する。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
24	減法の計算をする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
25	乗法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
26	乗法の意味を理解する。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
27	乗法の計算をする。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
28	除法について計算の意味と計算の仕方を知る。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
29	除法の意味を理解する。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
30	除法の計算をする。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
31	四則の混合した式を計算する。	A(3)②				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
32	既習の知識を利用して、いろいろな方法で計算結果の確かめをする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
33	様々な事象の中から法則性を見だし、交換法則・結合法則・分配法則などを場合に応じて活用する。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
34	数量の関係に着目し、加法及び減法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
35	数量の関係に着目し、乗法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
36	数量の関係に着目し、除法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
37	数量の関係に着目し、数量の関係を文字を用いて表現したり、式の意味を読み取ったりする。	A(3)③			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
38	数を日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
39	四則計算を日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
40	概数や四則計算の見積もりを日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
41	既習を適用する。	A(3)①~④	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
算数科の各領域 の付けたい力 B 図形	1	形の特徴をとらえて、ものを弁別する。	B(3)①	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	図形の構成要素をもとに、図形の性質について考察し分類する。	B(3)①		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	図形の構成要素の関係をもとに、図形の性質について考察し分類する。	B(3)①				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	角の数量的な関係をとらえる。	B(3)①				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

	5	道具を用いて、図形を構成したり、作図したりする。	B(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	図形間の関係をもとに、図形の構成の仕方をとらえる。	B(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	立体図形を見取り図や展開図で表したり、見取り図や展開図をもとに、立体図形を構成したりする。	B(3)②					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	図形のもつ美しさに気付く。	B(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	図形の性質を生かしてデザインする。	B(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	図形の構成要素の大きさを数値化する。	B(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	11	面積や体積の求め方を考え、計算によって求める。	B(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	図形のもつ機能的な側面を日常生活の場面に応じて活用する。	B(3)④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	13	図形の性質を活用し、測量を行う。	B(3)④			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	平面や空間における位置を特定し、表現する。	B(3)④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	15	既習を適用する。	B(3)①~④	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
算数科の各領域 の付けたい力 C 測定	1	直接比較や間接比較により、量の大小判断をする。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	任意単位を用いて、量を数値に置き換えて比較する。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	ある量を基準として別の量の大きさを表す。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	測る物に応じて適切な計器を用い、正確に測定する。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	適切な単位を用いて、量を表したり、比較したりする。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	量の分割や移動による保存性や普遍性に気付く。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	日常生活の中で時刻を読む。	C(3)②	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	時間の単位(日、時、分、秒)とそれらの関係をとらえる。	C(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	時刻や時間の計算をする。	C(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	長さ、重さ、かさの単位間の関係を統合的にとらえる。	C(3)③	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	11	量の大きさの見当をつけ、それを実際の場面で活用する。	C(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	量や計器を目的に応じて適切に選ぶよさに気付き、進んで生活に活用する。	C(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	13	伴って変わる二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて表現する。	C(3)①					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	伴って変わる二つの数量の変化や対応の特徴を見いだす。	C(3)①					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	15	二つの数量の関係と別の二つの数量との関係を割合を用いて比べる。	C(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

	16	割合や比を用いて数量の関係を比べたり, 知りたい数量の大きさを求めたりする。	C(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	17	伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を考察し, 見いだした規則性などを日常生活の場面に応じて活用する。	C(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	18	既習を適用する。	C(3)①~④	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
算数科の各領域										
の付けたい力										
D データの活用	1	統計的に解決可能な問題を設定する。	D(3)①					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	目的に応じてデータの集め方を考え, データを集める。	D(3)①					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	データを分類整理し, 特徴をとらえる。	D(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	目的やデータの種類に応じて表やグラフに表す。	D(3)①			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	表やグラフから見いだした特徴や傾向から問題に対する結論をまとめて表現したり, さらなる課題や改善点を見いだしたりする。	D(3)①						<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	代表値の求め方や意味を理解し, 適切に用いる。	D(3)①						<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	事象の起こりやすさについて考察する。	D(3)①			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	起こり得る場合について落ちや重なりがないように調べる。	D(3)①							<input checked="" type="checkbox"/>
	9	結論について多面的・批判的に考察する。	D(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	既習を適用する。	D(3)①②	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

〈算数科の学びを支える「見方・考え方」〉

- a 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 基礎的・基本的な概念や性質などを理解しそれらを用いて説明する。
- b 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 具体的な操作活動をもとに説明する。
- c 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 数学的な表現を用いて説明する。
- d 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 筋道を立てて論理的に説明する。

〈領域の学びを深める「見方・考え方」〉

- 数 と 計 算 e 数の表し方の仕組み, 数量の関係や問題場面の数量の関係などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- 図 形 f 図形を構成する要素、それらの位置関係や図形間の関係などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- 測 定 g 身の回りにあるものの特徴などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- データの活用 h 日常生活の問題解決のために, データの特徴や傾向などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。